

埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

復習シート 第五学年 国語



組	番号	名前	模範解答

【「話すこと・聞くこと」を問う問題】

高野さんは、「ダンゴムシのひみつ」というテーマで調べ、発表するための練習をしています。【発表原こう】と【発表で使う写真】を読んで、あとの問いに答えましょう。

【発表原こう】

この間、友達と遊んでいる時に、ダンゴムシを見つけました。わたしは、そのダンゴムシを見てびっくりしました。なんと、体の半分が白っぽかったのです。そこで、ダンゴムシについてくわしく調べることになりました。すると、ダンゴムシにはたくさんのひみつがあることがわかりました。今日は、「ダンゴムシのひみつ」を三つしようかいます。一つ目は、「だっぴの仕方」についてです。ダンゴムシの体の半分が白っぽかったのは、そのダンゴムシが、だっぴをしていたからでした。ダンゴムシは、はじめに体の後ろ半分、次に時間をおいて前半分と、二回に分けてだっぴをします。ダンゴムシのような虫は、七回ほどだっぴをして、成虫になります。これは、わたしが見つけた、体半分が白いダンゴムシの写真です（写真①を見せる）。

二つ目は、「オスとメスのちがいがいい」です（写真②を見せる）。二ひきのダンゴムシのうち、右側がオスで、左側がメスです。オスとメスには、見た目にちがいががあります。メスの体には黄色いもようがあります。　　く（原こうは続く）　　く

※だっぴ・・・成長するために、古くなつた皮をめぎすてること。

【発表で使う写真】

みつ 1)
ンゴムシの仕方

オス

みつ 2)
スの

間！

みつ 3)
シは、
仲間の

「体半分が白いダンゴムシを見つけておどろいた」という話をして、聞き手の興味を引きつけているので、3番ですね。1番の、「自分が考えたことを中心に」は書かれていないので正かいいはなりません。

（1）発表原こうには、どのような工夫がありますか。1〜4の中から最もふさわしいものを一つ選んで、その番号を書きましよう。 **レベル7**

- 1 自分が考えたことを中心に、順じよよく説明している。
- 2 聞き手に問いかけることで注意をひき、問いの答えをくわしく伝えている。
- 3 きょう味をもってもらうため、おどろいた体けんから話し始めている。
- 4 予想したことをもとに、理由をふまえながら話している。



3

（2）高野さんの発表練習を聞いていた山田さんは、次のようにアドバイスをしました。【あ】にあてはまるものとして、ふさわしいものを1〜4の中から一つ選んで、その番号を書きましよう。 **レベル7**

写真①と写真②を見せる間かくが近い気がするよ。だから、【あ】と思うよ。



- 1 写真①に、メスの写真を入れた方がよい
- 2 写真①は、もっと早く見せた方がよい
- 3 写真②は、脱月の後で見せた方がよい

2

山田さんは、写真①と写真②の間かくが近い、だから・・・と言っています。写真を見せるタイミングの話をしていますね。写真①と写真②、どちらを移動した方がよいのか、前後の文章を良く読んで考えましよう

埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

復習シート 第五学年 国語



組
番号
名前
模範解答

【「書くこと」を問う問題】

1 次の上野さんが書いたクラブしようかいの文章を読んであとの問いに答えましょう。

わたしたちバトンクラブは、毎週木曜日に活動をしています。まず、「水平」「八の字」「大車輪」などのバトンの回し方を練習します。次に、音楽に合わせてバトンでえんぎをする練習をします。

①最後に、練習のふり返りと、次回の活動の予定をたしかめます。音楽に合わせてえんぎをするときには、バトンを回すだけではなく、隊形いどうがあるので、むずかしいです。それでも、みんながんばって練習をしています。②なぜなら、全員で息を合わせて一曲のえんぎをすることが、わたしたちの目標です。これからも、バトンクラブ全員で、力を合わせてがんばっていききたいと思います。

(1) ①最後に、のように書くことの順じよを表す言葉を文章の中からあと二つ見つけて書きましよう。

レベル7

まず

次に



他にも「最初に」「はじめに」

「さらに」「続いて」

なども同じはたらきをもつ言葉です。

(2) 上野さんは文章の見直しを^レして、②なぜなら、全員で息を合わせて一曲のえんぎをすることが、わたしたちの目標です。の文がまちがっていることに気がつきました。次の文に当てはまるようにまちがいを直して答えましよう。

レベル7

なぜなら、全員で息を合わせて一曲のえんぎをすることが、

わたしたちの目標だからです。

文章の最後に着目して考えましよう。
理由を伝えるときの文末の表現はどのようなものでしたか。思い出してみましよう。

埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

復習シート 第五学年 国語



組
番号
名前
模範解答

【「読むこと」を問う問題】

1 次の問題を解きなさい。

木に白い美しい花がいっぱい咲きました。木は自分のすがたがこんなに美しくなったので、うれしくてたまりません。けれどだれひとり、「美しいなあ」とほめてくれるものがないのでつまらないと思いました。木はめったに人のとおらない緑の野原のまんなかにはぽんと立っていたのであります。

やわらかな風が木のすぐそばをとって流れていきました。その風に木の花のにおいがふんわりのついでいきました。においは小川をわたって麦畑をこえて、崖がけつぷちをすべりおりて流れていきました。そしてとうとうちようちようがたくさんいるじゃがいも畑まで、流れてきました。

「おや」とじゃがいもの葉の上にとまっていた一ぴきのちようちようが鼻をうごかしていいました。

「なんてよいにおいでしよう、ああうっとりしてしまふ。」

「どこかで花がさいたのですね。」

と、別べつの葉にとまっていたちようちようがいました。

「きつと原っぱのまんなかのあの木に花がさいたのですよ。」

それからつぎつぎと、じゃがいも畑にいたちようちようは風につてきたころよいにおいに気がついて、「おや」「おや」といったのであります。

ちようちようは花のにおいがとてもすきでしたので、こんなによいにおいがしてくるのに、それをうつちやつておくわけにはまいりません。そこでちようちようたちはみんなでそうだんをして、木のところへやっっていくことにきめました。そして木のためにみんなを祭をしてあげようということになりました。

（出典 新見南吉 「木の祭り」）

（1） 木はどこに立っていますか。文中からぬき出して、あとの言葉に続くように
 レベル7
 十五文字でかきぬきましょう。

め	つ	た	に	人	が	と	お	ら	な	い	緑	の	野	原	の
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

まんなか

「立っていた」場所をしめす言葉をさがします。立っていた場所である「めったに人のとおらない緑の野原」が答えとなり、「のまんなか」という言葉が続きます。

(2) ア——の「よいにおい」とは何のにおいのことですか。もっともふさわしいものを次の1〜4の中から一つえらびましょう。

レベル7

- 1 じゃがいもの葉
- 2 麦畑
- 3 木の花
- 4 小川

「なんてよいにおいでしよう」と言ったちようがかいだにおいは何か探す問題です。木の花のにおいが風につて、じゃがいもの葉の上にいるちようにとどいている場面を読み取りましょう。

3

(3) イ——のあとちようちようがどうしたのかをまとめた文に当てはまる言葉を文中からさがし、それぞれ一字で書きぬきましょう。

レベル7

木 のためにみんなで **祭** をしてあげようと

いうことになりました。

「はなのにおいがとてもすき」なちようがどうしたのか読み取ります。「そこで」や「そして」という言葉に注目して読み取り、□にあうように書きぬきましょう。



埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

復習シート 第五学年 国語



組	番号	名前	模範解答

【「言葉」を問う問題】

1 次の にあてはまる慣用句としてふさわしいものを、1から4までのなかからそれぞれ一つずつ選んで、その番号を書きましよう。

レベル8

(1) 夏休みが近づいてきて 。

- 1 心がおどる
- 2 馬が合う
- 3 底が浅い
- 4 水に流す

(2) あなたの努力は必ず でしょう。

- 1 頭を冷やす
- 2 メスを入れる
- 3 実を結ぶ
- 4 労をねぎらう

わくわくした気持ちになることを「心がおどる」といいます。がんばったおかげで良い結果がでることを「実を結ぶ」といいます。

2 次の1〜4の漢字を、漢字辞典の「そう画さくいん」に出てくる順番にならびかえま

しょう。

レベル8 「そう画さくいん」では、画数の少ないものから出てきます。「夏」は十画、「安」は六角、「王」は四画、「空」は八角です。



3 次の文の主語、述語をー線部1〜5の中からそれぞれ選びましよう。

レベル8

(1) わたしは、きのう 友達と プリンを 食べた。

主語 1 述語 5

(2) いつも、ぼくは なつとうを たくさん まぜる。

主語 2 述語 5

主語は、「だれが（は）」「何が（が）」に当たることばです。述語は、「どうする」「どんなだ」「なんだ」に当たることばです。

4 次の文の は、何を指していますか。文章中より書きぬきましょう。 **レベル7**

クラスのたんじんの先生が、カラーペンを教室に持ってきた。昼休みに、わたしはそれをかしてもらって、自分のノートに絵をかいた。

こそあど言葉は、文章中の言葉を指し示すときにも使います。ここでは「それ」に「かしてもらって」が続くため、直前の文の「カラーペン」を示しているとわかります。

カラーペン

5 次の 線部は、1～3のどの言葉をくわしくしていますか。1～3の中からそれぞれ一つずつ選んでその番号を書きましょう。 **レベル6**

一 ぼく¹は、お父さん²から 大きな人形³をもらった。

3

二 茶色¹の 筆箱²が、つくえ³に おいて³ある。

1

くわしくする言葉がくつつくと、それぞれ「お父さんからもらった」「茶色の筆箱」となります。

6 次の にあてはまる言葉としてふさわしいものを1から4までの中からそれぞれ一つずつ選んで、その番号を書きましょう。 **レベル4**

(1) 明日は、算数のまとめテストがある。
 、家でたくさん自主学習をやっておこう。

- 1 しかし
- 2 また
- 3 だから
- 4 それとも

3

(2) ぼくは、空手と野球が得意だ。
 、持久走とサッカーは苦手だ。

- 1 しかし
- 2 また
- 3 だから
- 4 それとも

1

前の文を理由とする時は「だから、そのため、それで」などを使います。前の文と反対になる時は「しかし、けれども」などを使います。

